

平成30年度（2018年度） 区民意識意向調査 ＜概要版＞

この小冊子は、平成30年9月に実施した「平成30年度（2018年度）区民意識意向調査」の概要版です。調査の結果については、今後の区政運営の基礎資料として活用いたします。ご協力いただいた区民の皆様に心から感謝申し上げます。

【調査の概要】

- ①調査対象…………… 練馬区在住の満20歳以上の男女3,000名を住民基本台帳より層化二段無作為抽出
- ②調査方法…………… 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ③調査期間…………… 平成30年9月1日（土）～9月21日（金）
- ④回収状況…………… 有効回収数 1,208 回収率 40.3%
- ⑤調査テーマ……………
 - 1 区の施策および評価について
 - 2 都市農業・農地について
 - 3 地域福祉について
 - 4 区民のみどりを守り育てる活動について

数字の表示について

- (1) 図表中「n」とは、その質問への回答者総数のことです。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入してあります。このため、回答率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合があります。

「平成30年度（2018年度）区民意識意向調査報告書」（全文）
については、区ホームページや図書館などをご覧ください。

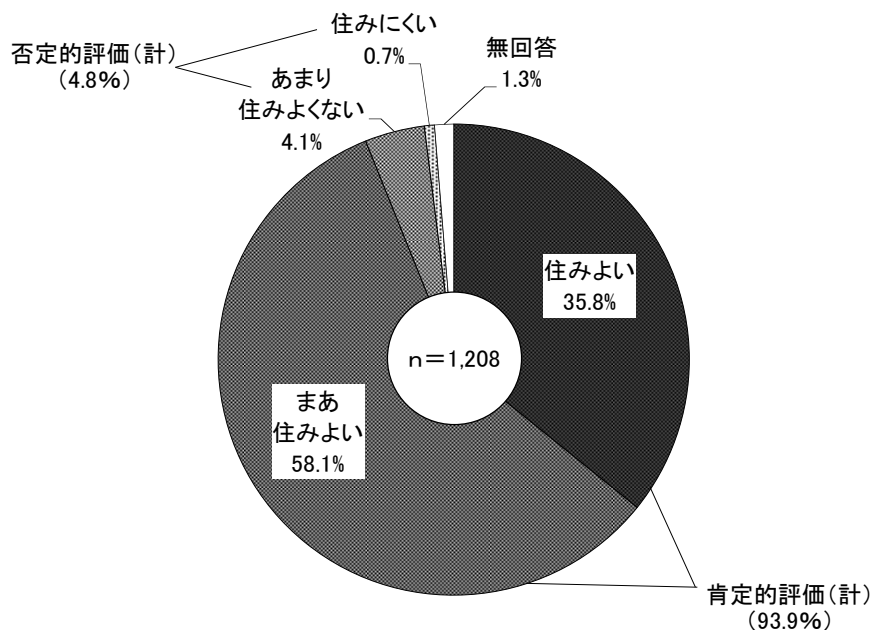
平成31年1月
発行 練馬区 区長室 広聴広報課
〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号
電話 03-5984-4501（ダイヤルイン）

1 区の施策および評価について

(1) 住みごち

◇『肯定的評価』が9割を超える

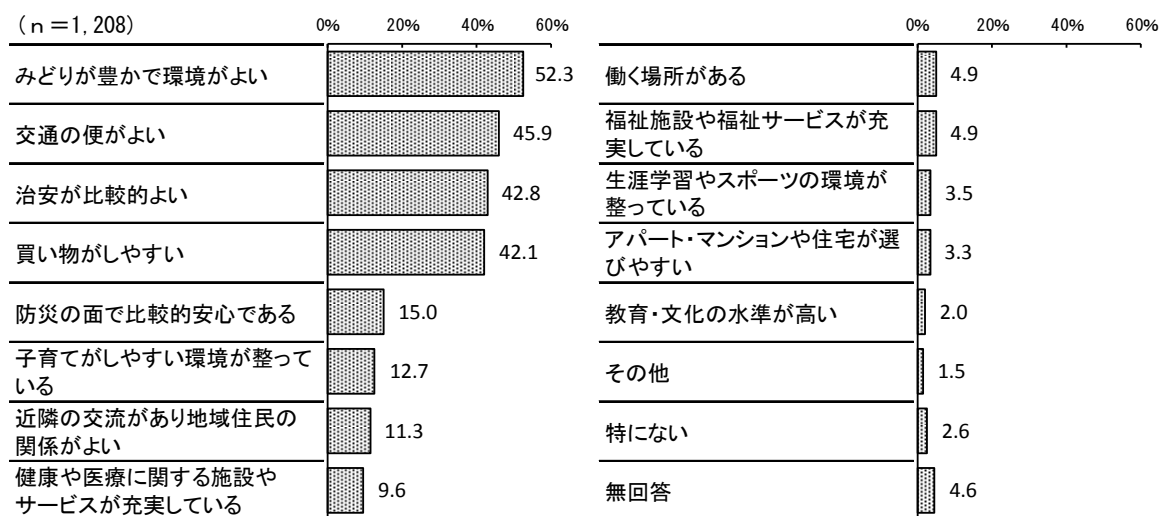
「住みよい」(35.8%)と「まあ住みよい」(58.1%)を合わせた『肯定的評価』(93.9%)が9割を超える。



(2) 練馬区が住みよいと感じるところ

◇「みどりが豊かで環境がよい」が5割を超える

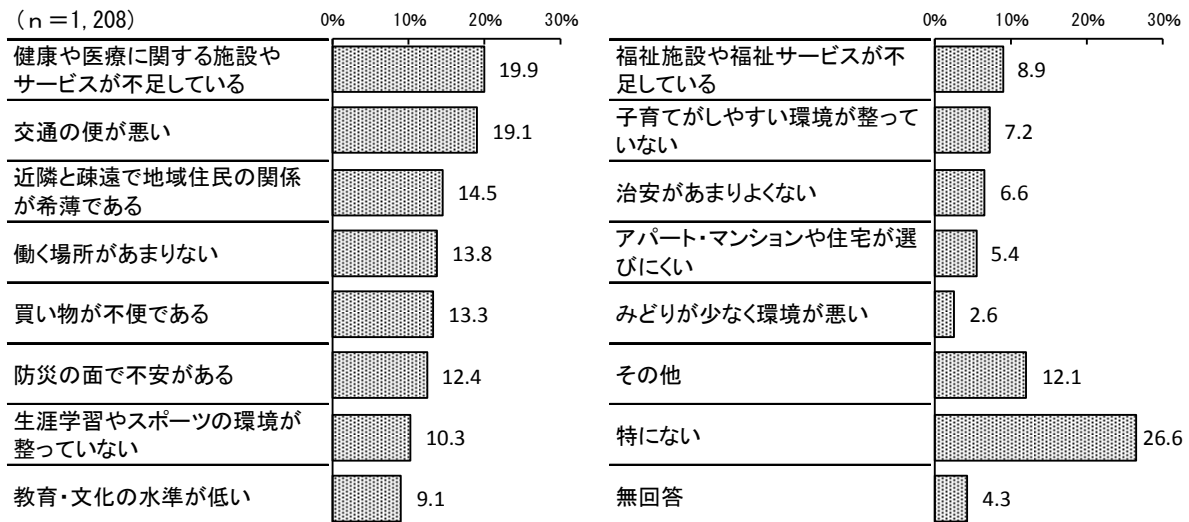
「みどりが豊かで環境がよい」(52.3%)が5割を超えて最も多く、次いで「交通の便がよい」(45.9%)、「治安が比較的よい」(42.8%)の順となっている。



(3) 練馬区が住みにくいと感ずるところ

◇「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」が約2割

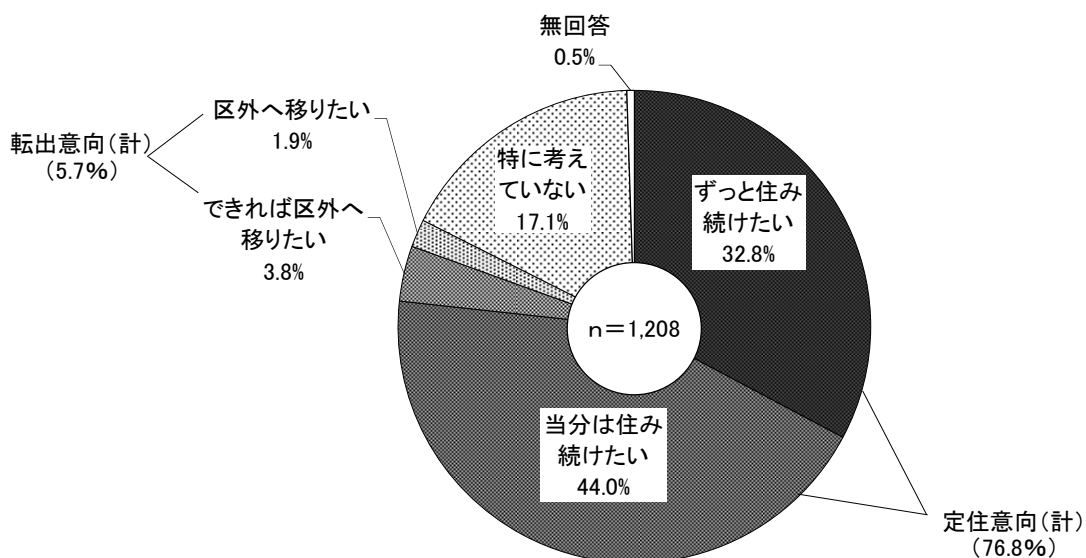
「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」(19.9%)が約2割で最も多く、次いで「交通の便が悪い」(19.1%)、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」(14.5%)、「働く場所があまりない」(13.8%)の順となっている。一方、「特にない」(26.6%)は2割台半ばとなっている。



(4) 定住意向

◇『定住意向』が7割台半ば

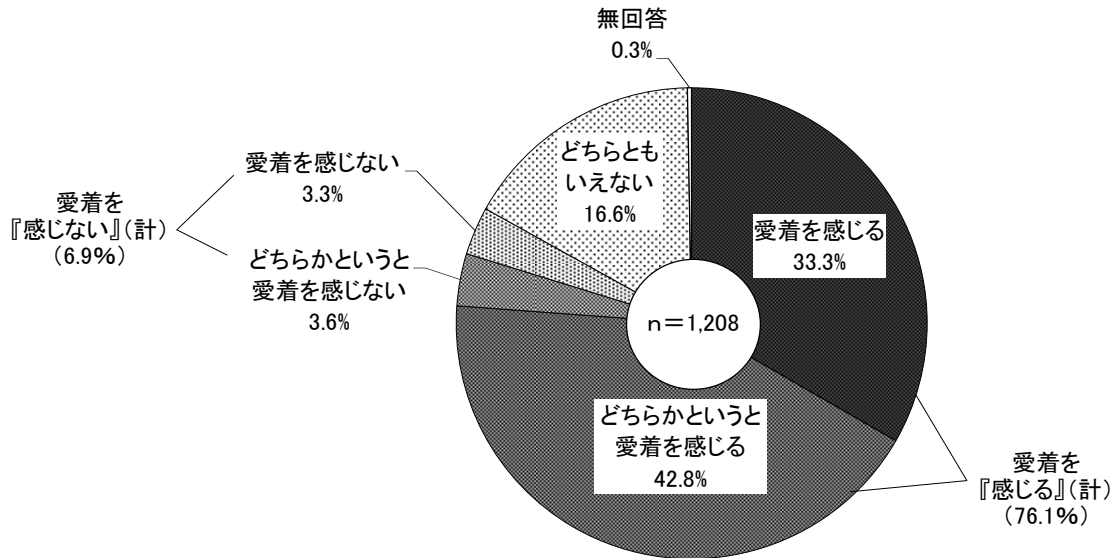
「ずっと住み続けたい」(32.8%)と「当分は住み続けたい」(44.0%)を合わせた『定住意向』(76.8%)が7割台半ばとなっている。一方、『転出意向』(5.7%)は1割を下回っている。



(5) 練馬区への愛着

◇愛着を『感じる』が7割台半ば

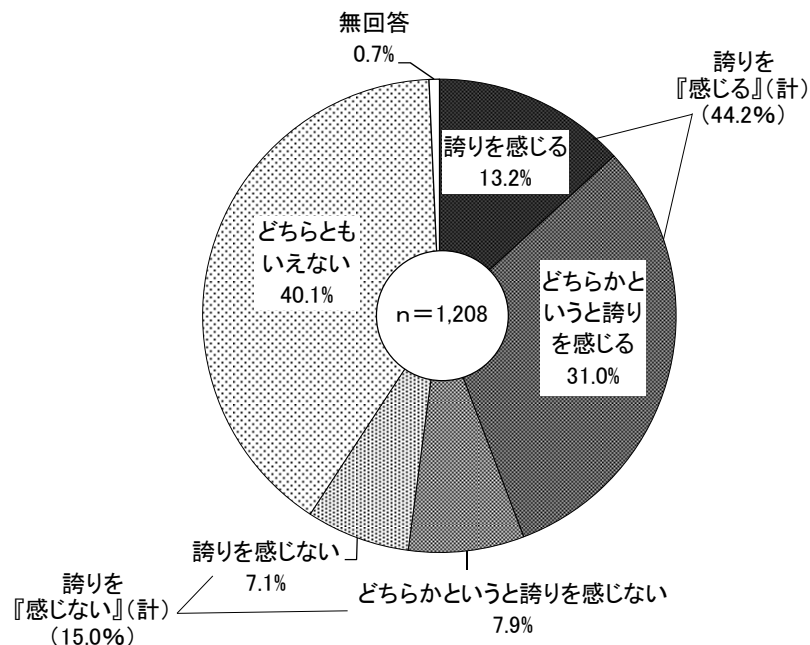
「愛着を感じる」(33.3%)と「どちらかというとな愛着を感じる」(42.8%)を合わせた、愛着を『感じる』(76.1%)が7割台半ばとなっている。一方、愛着を『感じない』(6.9%)は1割を下回っている。



(6) 練馬区に対する誇り

◇誇りを『感じる』が4割台半ば

「誇りを感じる」(13.2%)と「どちらかというとな誇りを感じる」(31.0%)を合わせた、誇りを『感じる』(44.2%)が4割台半ばとなっている。一方、誇りを『感じない』(15.0%)は1割台半ばにとどまっている。



(7) 施策の満足度

◇満足度の高い施策は「みどりの保全と創出」が7割台半ば

『満足評価』は「みどりの保全と創出」(76.0%)が7割台半ばで最も多く、次いで「健康づくりの推進」(72.5%)、「循環型社会づくり」(69.6%)の順になっている。

	満足評価		不満評価		無回答	満足評価 (計)	不満評価 (計)
	満足	どちらかという満足	どちらかという不満	不満			
(n=1,208)	(%)						
1 子育て支援	9.7	52.4	17.2	4.4	16.3	62.1	21.6
2 学校教育	8.4	50.7	20.1	4.4	16.4	59.1	24.5
3 青少年の健全育成	7.0	49.6	22.2	4.2	17.0	56.6	26.4
4 高齢者福祉	8.2	54.5	22.3	3.6	11.5	62.7	25.9
5 障害者福祉	6.4	53.0	22.9	2.3	15.4	59.4	25.2
6 医療環境の充実	7.2	44.0	32.4	7.5	8.9	51.2	39.9
7 地域福祉の推進	5.5	51.0	26.3	3.6	13.6	56.5	29.9
8 健康づくりの推進	14.2	58.3	16.6	2.5	8.4	72.5	19.1
9 生活の安定に向けた自立支援	6.7	54.0	20.7	2.6	16.1	60.7	23.3
10 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	15.7	41.3	26.6	3.5	12.9	57.0	39.5
11 災害に強い安全なまちづくり	6.0	49.2	32.7	5.9	6.2	55.2	38.6
12 地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり	5.5	53.9	29.5	4.1	7.1	59.4	33.6
13 交通安全対策	4.4	32.7	41.7	17.1	4.1	37.1	58.8
14 駅周辺のまちづくり	8.4	41.6	32.4	13.7	3.9	50.0	46.1
15 エネルギー政策の展開	2.9	43.5	36.9	4.6	12.2	46.4	41.5
16 循環型社会づくり	8.6	61.0	20.7	2.6	7.0	69.6	23.3
17 地域環境の保全	6.9	46.4	29.9	11.3	5.6	53.3	41.2
18 住まいの支援	4.8	48.6	28.8	6.4	11.4	53.4	35.2
19 区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	3.5	40.2	36.7	9.0	10.6	43.7	45.7
20 都市農業の振興と都市農地の保全	9.6	56.5	19.5	3.1	11.3	66.1	22.6
21 みどりの保全と創出	18.5	57.5	15.6	3.1	5.3	76.0	18.7
22 地域活動の活性化と多文化共生社会の実現	6.3	52.1	27.0	4.0	10.7	58.4	31.0
23 文化・生涯学習・スポーツの振興	7.0	53.3	25.8	4.6	9.2	60.3	30.4
24 観光の推進	5.6	44.0	35.3	6.8	8.3	49.6	42.1
25 窓口サービス等の利便性の向上	10.3	52.4	24.2	6.4	6.7	62.7	30.6
26 開かれた区政	8.7	56.6	21.9	4.4	8.4	65.3	26.3
27 区政改革の取組	6.0	50.0	27.3	6.3	10.4	56.0	33.6
28 平和と人権の尊重、男女共同参画の推進	6.1	53.1	24.1	4.4	12.3	59.2	28.5

(8) 施策の必要性

◇必要性の高い施策は「医療環境の充実」「災害に強い安全なまちづくり」が9割近く

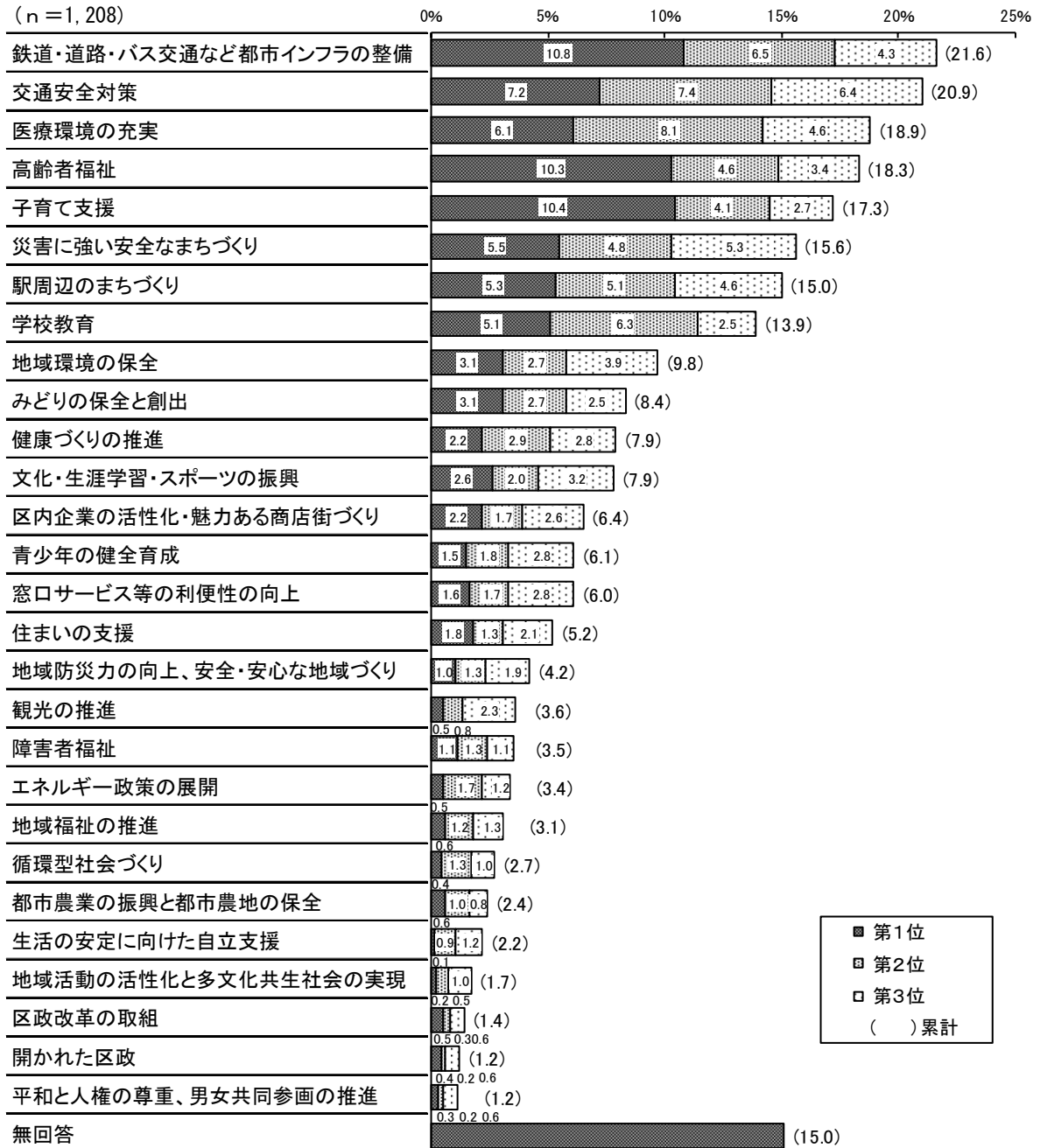
『必要性が高い評価』は「医療環境の充実」、「災害に強い安全なまちづくり」（ともに87.2%）が9割近くで最も多く、次いで「交通安全対策」（86.1%）、「高齢者福祉」（85.2%）の順になっている。

	必要性が高い評価		必要性が低い評価		無回答	高 必 い 要 評 性 価 が (計)	低 必 い 要 評 性 価 が (計)
	とても必要	必要	どちらかとい うと必要	あまり 必要でない			
(n=1,208)	(%)						
1 子育て支援	48.1	32.5	8.8	8.8	8.8	80.6	10.6
2 学校教育	47.6	34.4	7.9	8.8	8.8	82.0	9.1
3 青少年の健全育成	36.0	41.4	12.4	8.5	8.5	77.4	14.1
4 高齢者福祉	50.8	34.4	7.9	5.6	5.6	85.2	9.1
5 障害者福祉	38.9	42.1	11.5	6.5	6.5	81.0	12.4
6 医療環境の充実	52.9	34.3	6.5	6.0	6.0	87.2	6.8
7 地域福祉の推進	32.5	46.8	13.1	6.5	6.5	79.3	14.3
8 健康づくりの推進	39.2	43.9	11.1	5.4	5.4	83.1	11.6
9 生活の安定に向けた自立支援	25.3	44.8	20.8	6.4	6.4	70.1	23.5
10 鉄道・道路・バス交通など 都市インフラの整備	42.5	34.1	14.6	5.1	5.1	76.6	18.2
11 災害に強い安全なまちづくり	51.0	36.2	8.1	4.4	4.4	87.2	8.4
12 地域防災力の向上、安全・安心な 地域づくり	40.5	42.9	10.8	5.2	5.2	83.4	11.5
13 交通安全対策	47.3	38.8	9.4	4.1	4.1	86.1	9.7
14 駅周辺のまちづくり	37.8	40.1	14.3	4.6	4.6	77.9	17.4
15 エネルギー政策の展開	28.0	43.1	20.4	6.1	6.1	71.1	22.8
16 循環型社会づくり	29.0	47.2	17.2	5.4	5.4	76.2	18.4
17 地域環境の保全	32.1	44.5	16.1	5.6	5.6	76.6	17.7
18 住まいの支援	24.9	43.0	22.1	6.2	6.2	67.9	25.9
19 区内企業の活性化・魅力ある商店街 づくり	23.0	43.9	23.3	6.2	6.2	66.9	26.9
20 都市農業の振興と都市農地の保全	18.9	43.5	25.7	5.5	5.5	62.4	31.2
21 みどりの保全と創出	29.3	45.8	18.0	5.2	5.2	75.1	19.7
22 地域活動の活性化と多文化共生社会 の実現	13.5	40.1	33.8	5.8	5.8	53.6	39.6
23 文化・生涯学習・スポーツの振興	19.7	41.9	28.4	6.9	6.9	61.6	31.5
24 観光の推進	16.1	34.3	32.8	10.1	6.7	50.4	42.9
25 窓口サービス等の利便性の向上	29.9	45.1	17.8	5.9	5.9	75.0	19.1
26 開かれた区政	24.6	47.4	19.9	6.5	6.5	72.0	21.6
27 区政改革の取組	23.6	48.3	19.5	6.8	6.8	71.9	21.3
28 平和と人権の尊重、男女共同参画の 推進	16.8	41.6	28.4	6.4	6.8	58.4	34.8

(9) 施策への要望

◇「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」「交通安全対策」が2割台前半

特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(21.6%)が2割を超えて最も多く、次いで「交通安全対策」(20.9%)、「医療環境の充実」(18.9%)の順になっている。



(10) 施策への要望一過年度比較

◇「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が4年連続第1位

過去の調査と比較すると、^{注1}「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が4年連続第1位となっている。また、第5位までの項目は前回調査（平成29年度）と同様となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成30年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	医療環境の充実	高齢者福祉	子育て支援
平成29年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	子育て支援	高齢者福祉	医療環境の充実
平成28年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	駅周辺のまちづくり
平成27年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	医療環境の充実
平成26年度	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	医療体制の確立	道路や公共交通の整備

注1) 「医療環境の充実」は平成26年度までは「医療体制の確立」としていた。

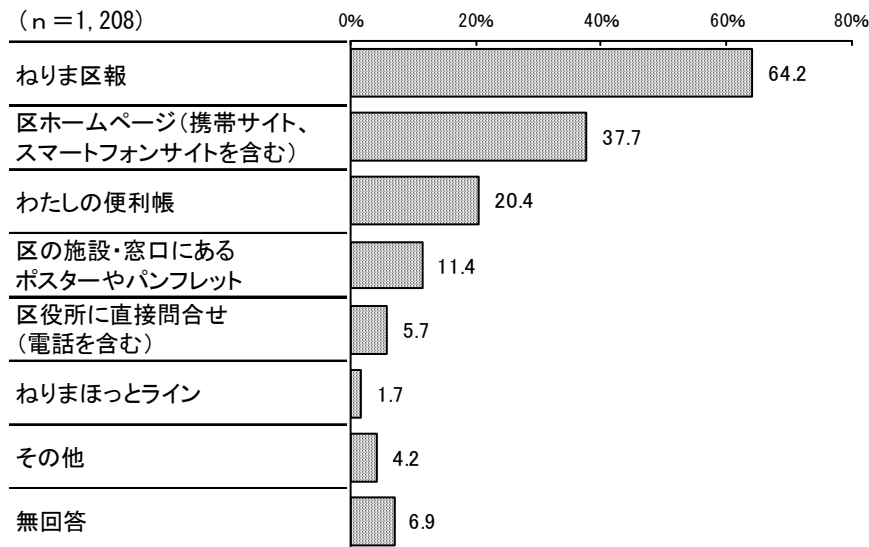
「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は平成26年度までは「道路や公共交通（鉄道やバスなど）の整備」としていた。

「災害に強い安全なまちづくり」は平成26年度までは「災害に強く生活しやすいまちづくり」としていた。

(11) 区政情報の入手先

◇「ねりま区報」が6割台半ば

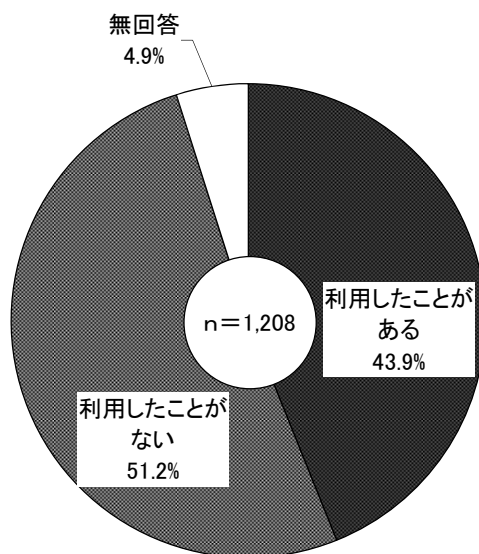
「ねりま区報」（64.2%）が6割台半ばで最も多く、次いで「区ホームページ（携帯サイト、スマートフォンサイトを含む）」（37.7%）、「わたしの便利帳」（20.4%）、「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」（11.4%）の順になっている。



(12) 「わたしの便利帳」の利用の有無

◇ 「利用したことがない」が5割を超えている

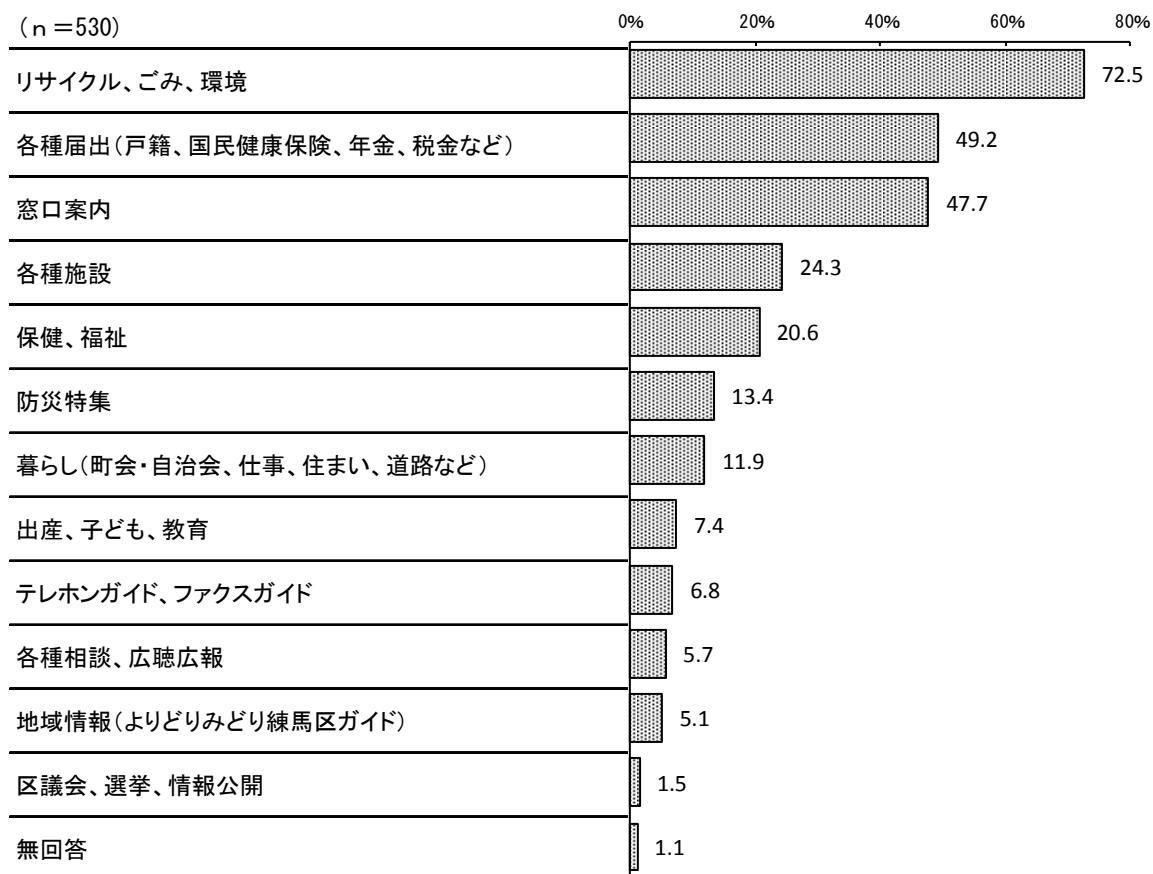
「利用したことがない」(51.2%)が5割を超えている。



(13) 「わたしの便利帳」でよく利用する情報

◇ 「リサイクル、ごみ、環境」が7割を超える

「わたしの便利帳」を「利用したことがある」と答えた方(530人)に、よく利用する情報を聞いたところ、「リサイクル、ごみ、環境」(72.5%)が7割を超えて最も多く、次いで「各種届出(戸籍、国民健康保険、年金、税金など)」(49.2%)、「窓口案内」(47.7%)などの順となっている。

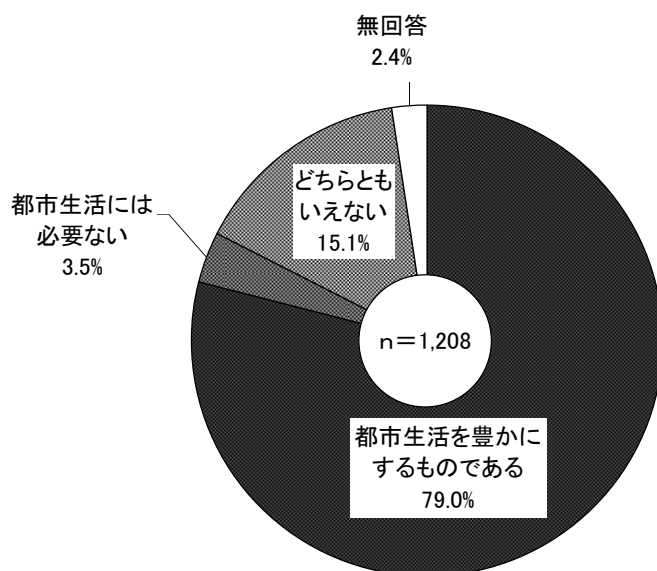


2 都市農業・農地について

(1) 都市農業・農地に対する考え

◇「都市生活を豊かにするものである」は約8割

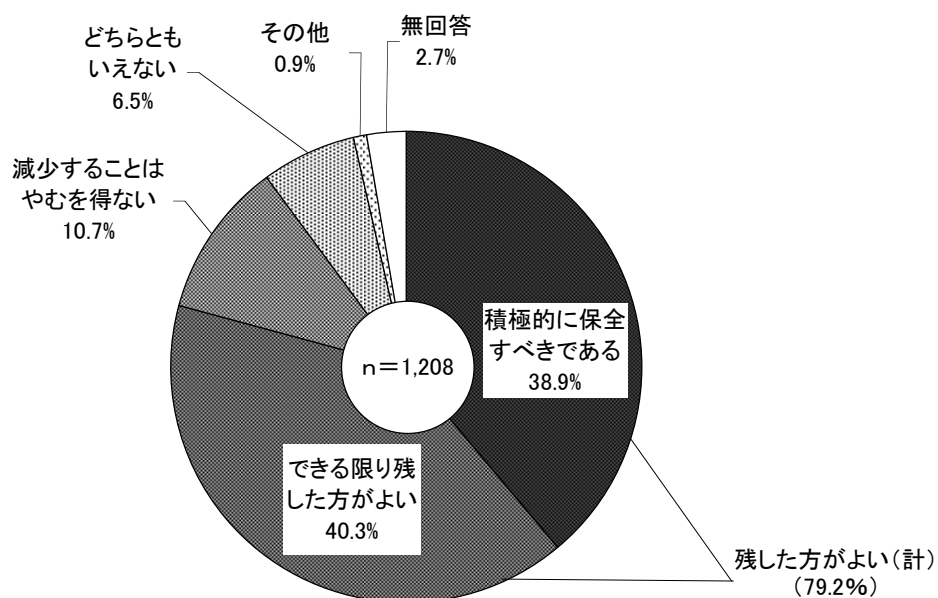
「都市生活を豊かにするものである」(79.0%)が約8割となっている。一方、「都市生活には必要ない」(3.5%)は1割を下回っている。



(2) 農地の保全

◇『残した方がよい』は約8割

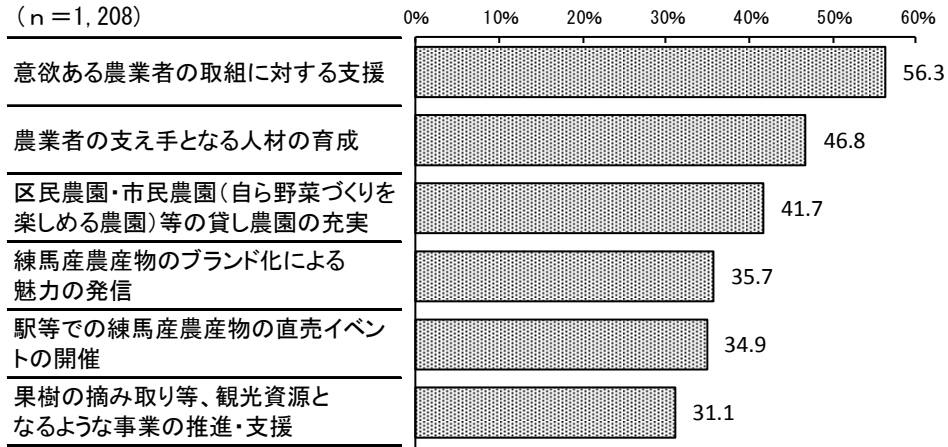
「積極的に保全すべきである」(38.9%)が4割近くで、これに「できる限り残した方がよい」(40.3%)を合わせた『残した方がよい』(79.2%)が約8割となっている。一方、「減少することはやむを得ない」(10.7%)は約1割となっている。



(3) 重要だと思う農業振興策

◇「意欲ある農業者の取組に対する支援」は5割台半ば

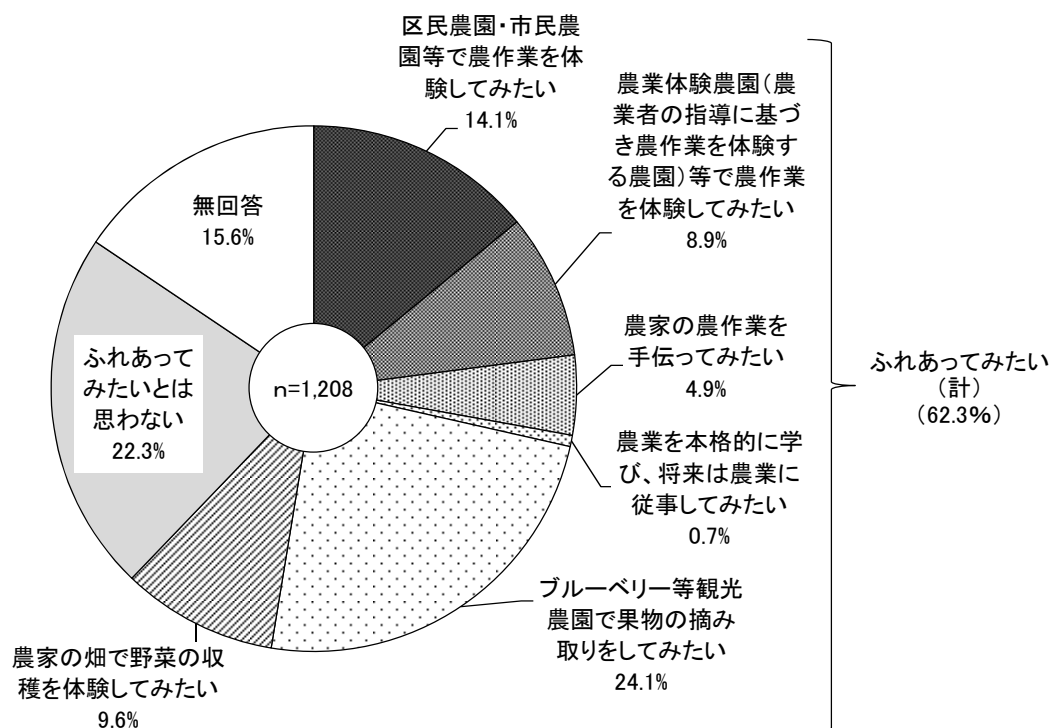
「意欲ある農業者の取組に対する支援」(56.3%)が5割台半ばで最も多く、次いで「農業者の支え手となる人材の育成」(46.8%)、「区民農園・市民農園(自ら野菜づくりを楽しめる農園)等の貸し農園の充実」(41.7%)などの順になっている。



(4) 「農」とのふれあい

◇『ふれあってみたい』は6割を超える

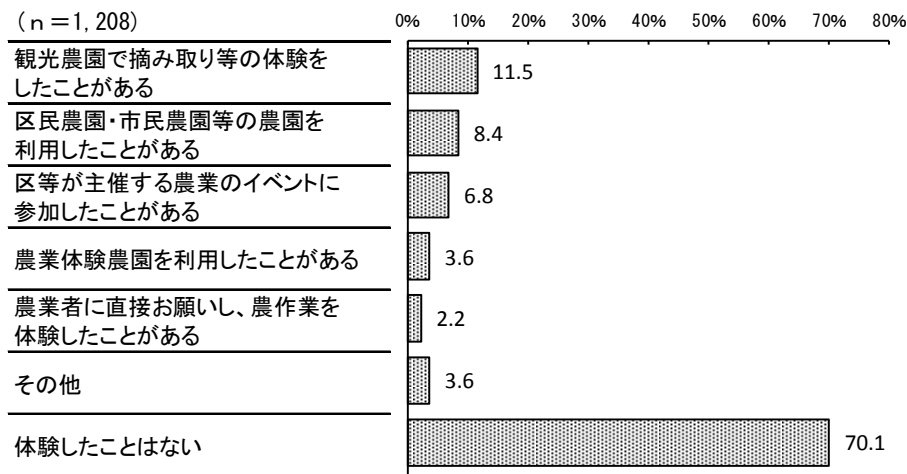
「ブルーベリー等観光農園で果物の摘み取りをしてみたい」(24.1%)が2割台半ばで最も多く、これに「区民農園・市民農園等で農作業を体験してみたい」(14.1%)、「農家の畑で野菜の収穫を体験してみたい」(9.6%)、「農業体験農園(農業者の指導に基づき農作業を体験する農園)等で農作業を体験してみたい」(8.9%)、「農家の農作業を手伝ってみたい」(4.9%)、「農業を本格的に学び、将来は農業に従事してみたい」(0.7%)を合わせた、『ふれあってみたい』(62.3%)は6割を超える。一方、「ふれあってみたいとは思わない」(22.3%)は2割を超える。



(5) 区内での農業体験について

◇「体験したことはない」は約7割

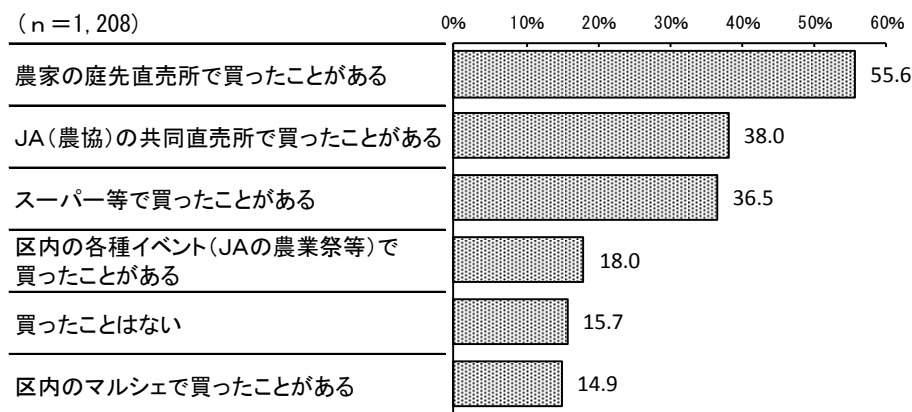
区内での農業体験について聞いたところ、「観光農園で摘み取り等の体験をしたことがある」(11.5%)が1割を超えている。一方、「体験したことはない」(70.1%)が約7割となっている。



(6) 練馬産の農産物の購入

◇「農家の庭先直売所で買ったことがある」は5割台半ば

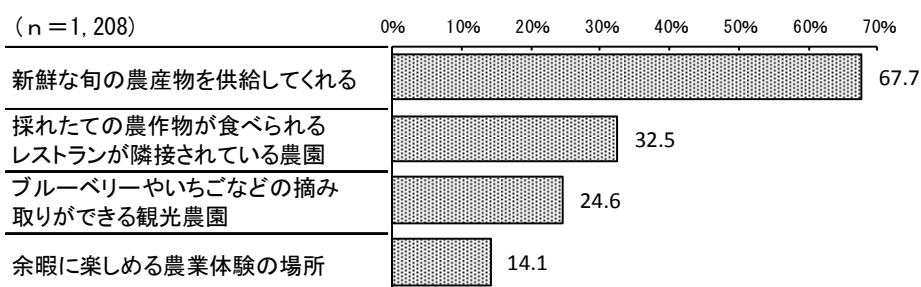
「農家の庭先直売所で買ったことがある」(55.6%)が5割台半ばで最も多く、次いで「JA(農協)の共同直売所で買ったことがある」(38.0%)、「スーパー等で買ったことがある」(36.5%)などの順となっている。



(7) 自宅の近くにあったら良いと思う農地・農園

◇「新鮮な旬の農産物を供給してくれる」は7割近く

「新鮮な旬の農産物を供給してくれる」(67.7%)が7割近くで最も多く、次いで「採れたての農作物が食べられるレストランが隣接されている農園」(32.5%)、「ブルーベリーやいちごなどの摘み取りができる観光農園」(24.6%)などの順となっている。

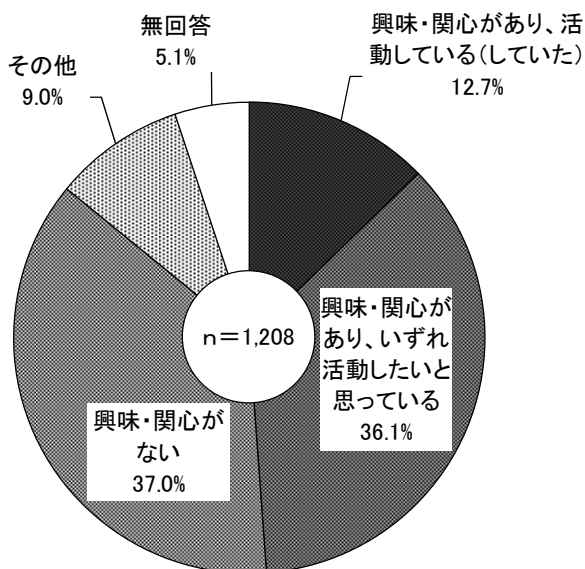


3 地域福祉について

(1) 地域福祉活動への興味・関心

◇「興味・関心がない」は4割近く

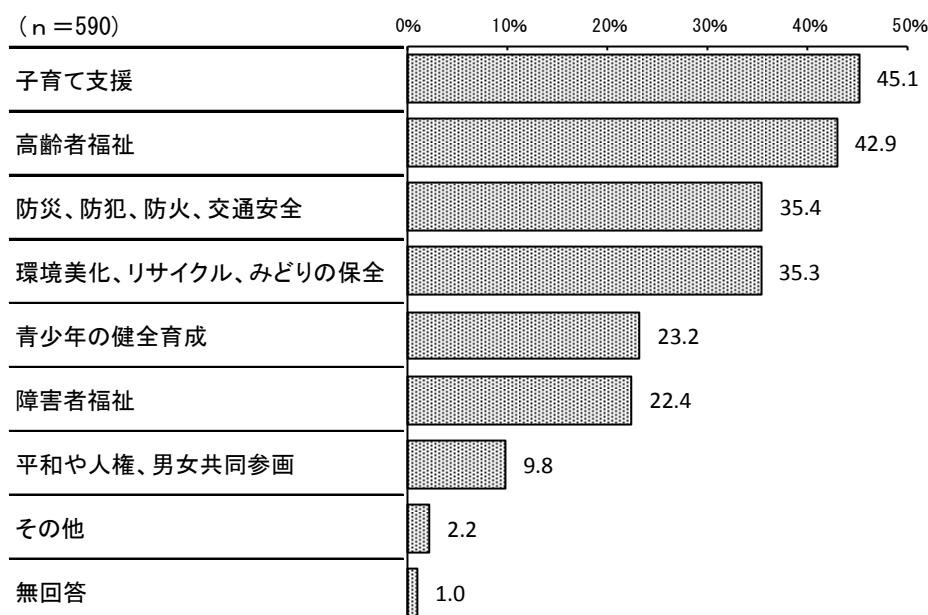
「興味・関心がない」(37.0%)が4割近くで最も多く、次いで「興味・関心があり、いずれ活動したいと思っている」(36.1%)が3割台半ばとなっている。また、「興味・関心があり、活動している(していた)」(12.7%)は1割を超えている。



(1-1) 興味・関心がある地域福祉活動

◇「子育て支援」は4割台半ば

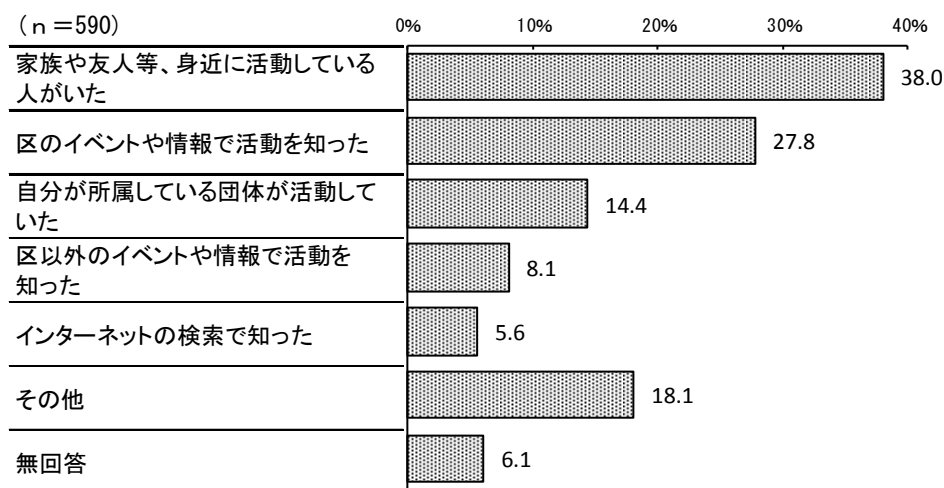
「子育て支援」(45.1%)が4割台半ばで最も多く、次いで「高齢者福祉」(42.9%)、「防災、防犯、防火、交通安全」(35.4%)、「環境美化、リサイクル、みどりの保全」(35.3%)などの順となっている。



(1-2) 地域福祉活動に興味・関心を持ったきっかけ

◇「家族や友人等、身近に活動している人がいた」は4割近く

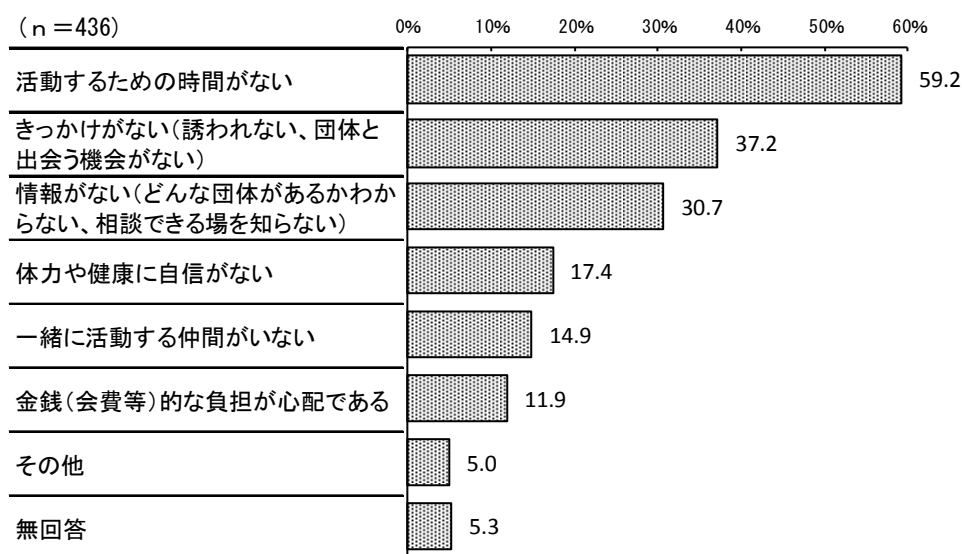
「家族や友人等、身近に活動している人がいた」(38.0%)が4割近くで最も多く、次いで「区のイベントや情報で活動を知った」(27.8%)、「自分が所属している団体が活動していた」(14.4%)の順となっている。



(1-3) 地域福祉活動をしていない理由

◇「活動するための時間がない」は約6割

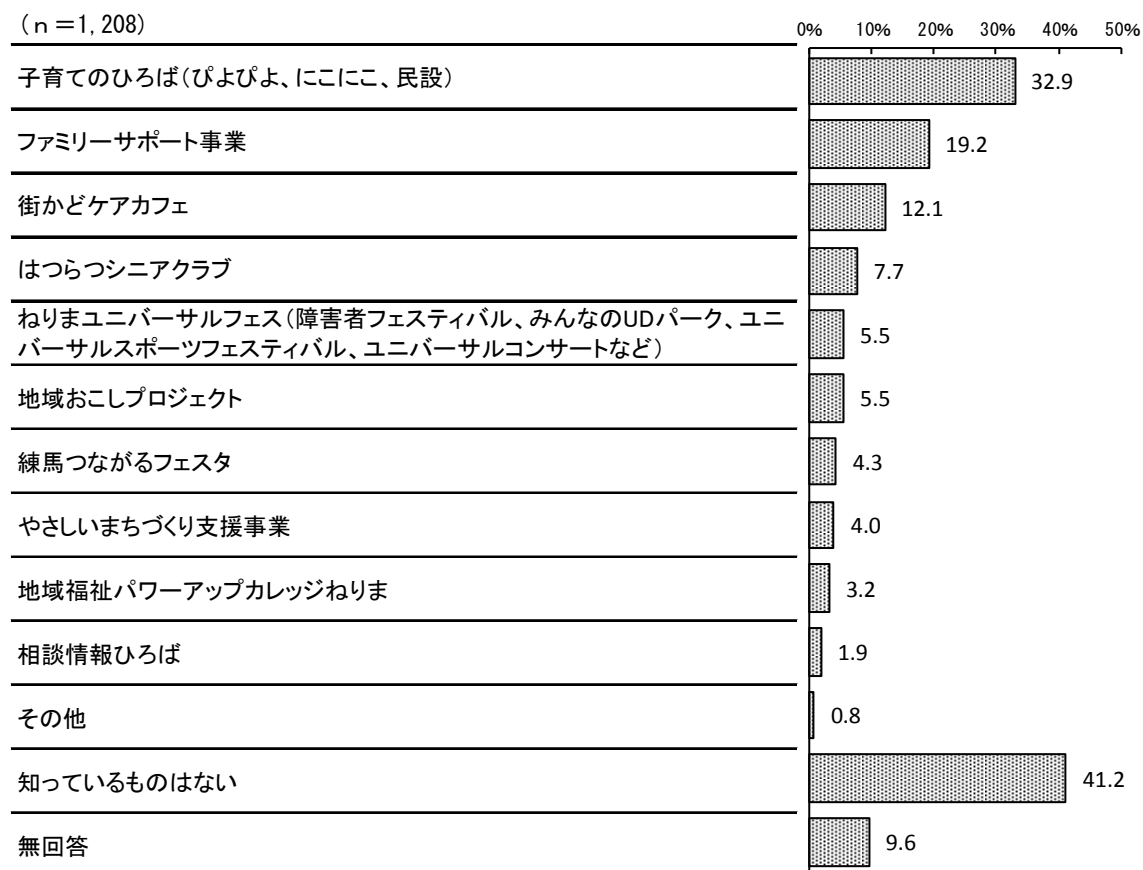
「活動するための時間がない」(59.2%)が約6割で最も多く、次いで「きっかけがない(誘われない、団体と出会う機会がない)」(37.2%)、「情報がない(どんな団体があるかわからない、相談できる場を知らない)」(30.7%)などの順となっている。



(2) 区民参加事業の認知状況

◇「子育てのひろば（びよびよ、にこにこ、民設）」は3割を超える

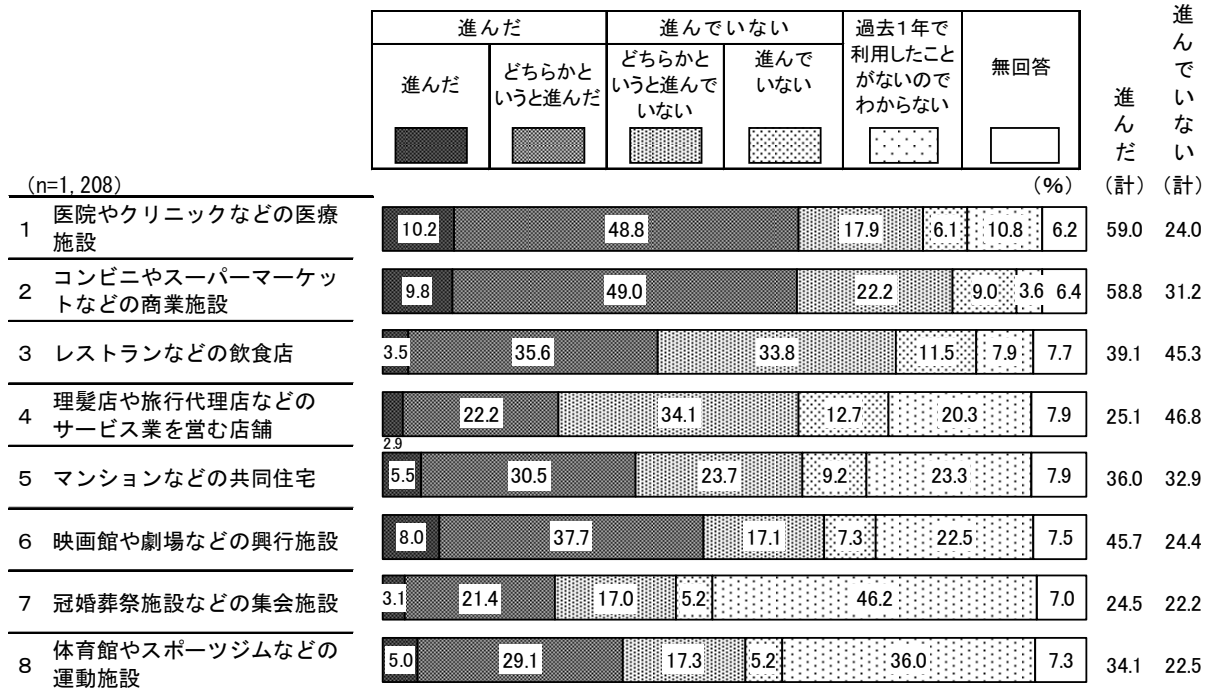
「子育てのひろば（びよびよ、にこにこ、民設）」(32.9%)が3割を超えて最も多く、次いで「ファミリーサポート事業」(19.2%)、「街かどケアカフェ」(12.1%)の順となっている。一方、「知っているものはない」(41.2%)は4割を超えている。



(3) 区内の中規模・小規模の建物のバリアフリー整備状況

◇「医院やクリニックなどの医療施設」は『進んだ』が約6割

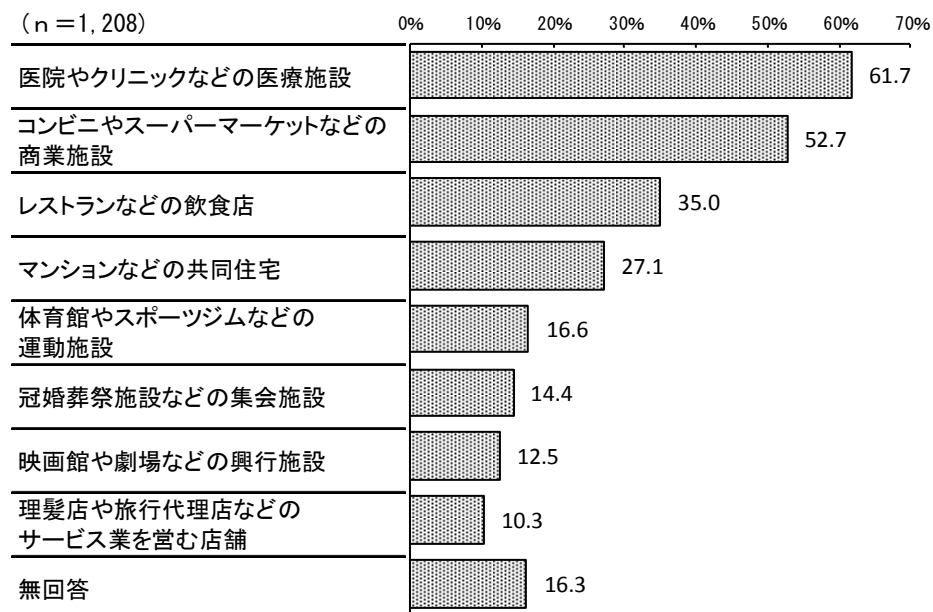
「進んだ」と「どちらかというに進んだ」を合わせた『進んだ』は、「医院やクリニックなどの医療施設」(59.0%)で約6割となっている。一方、「どちらかというに進んでいない」と「進んでいない」を合わせた『進んでいない』は、「理髪店や旅行代理店などのサービス業を営む店舗」(46.8%)、「レストランなどの飲食店」(45.3%)で4割台半ばとなっている。



(3-1) 重点的にバリアフリー化に取り組むべき建物

◇「医院やクリニックなどの医療施設」は6割を超える

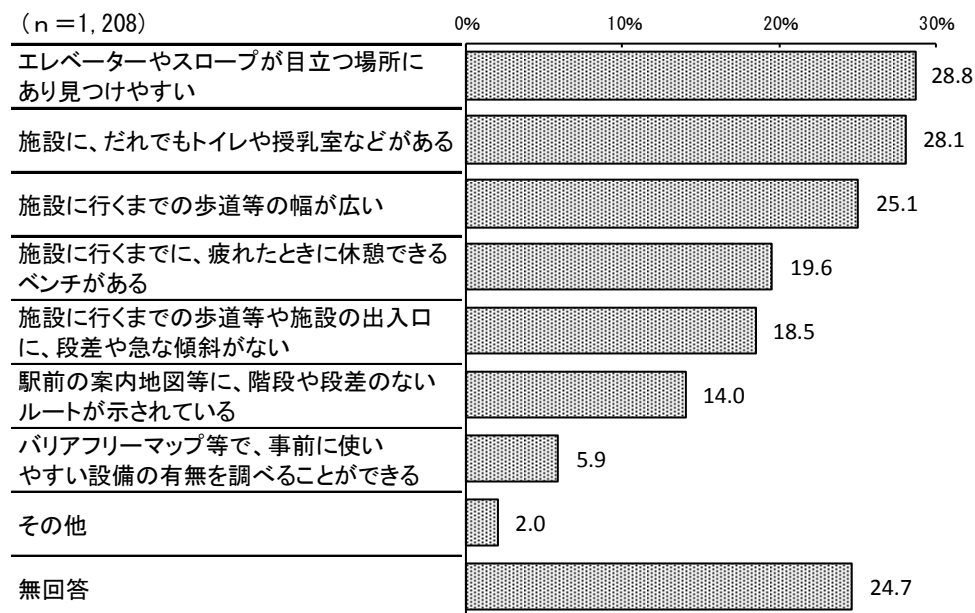
「医院やクリニックなどの医療施設」(61.7%)が6割を超えて最も多く、次いで「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(52.7%)、「レストランなどの飲食店」(35.0%)の順となっている。



(4) 安心して外出するために必要な設備や案内

◇「エレベーターやスロープが目立つ場所にあり見つけやすい」は3割近く

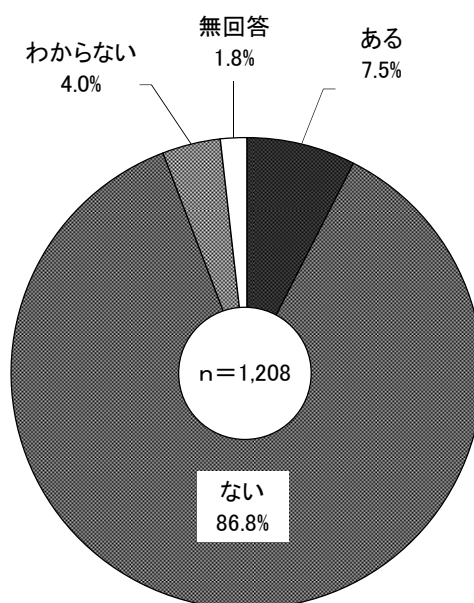
「エレベーターやスロープが目立つ場所にあり見つけやすい」(28.8%)が3割近くで最も多く、次いで「施設に、だれでもトイレや授乳室などがある」(28.1%)、「施設に行くまでの歩道等の幅が広い」(25.1%)の順となっている。



(5) 金銭の管理や契約手続きなどで支援を必要としたことの有無

◇「ない」は8割台半ば

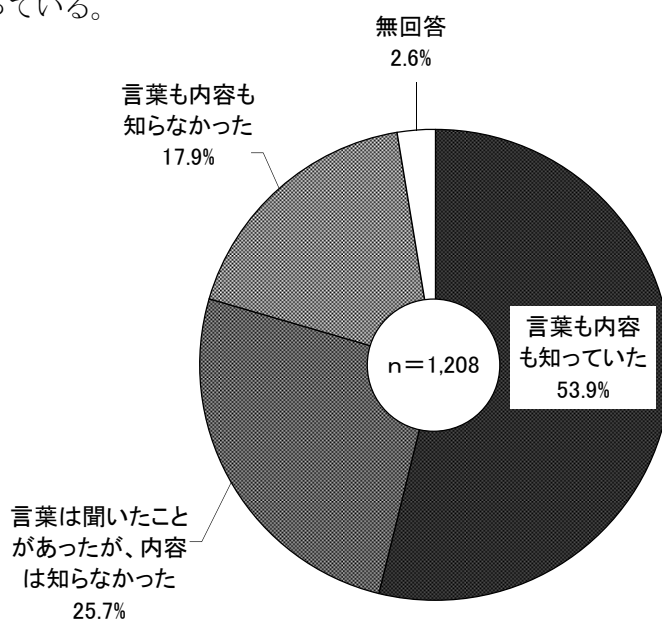
「ない」(86.8%)が8割台半ばを占めている。



(6) 成年後見制度の認知度

◇「言葉も内容も知っていた」は5割を超える

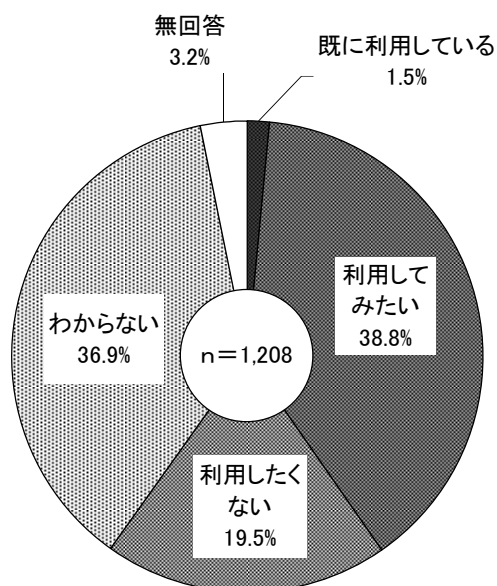
「言葉も内容も知っていた」(53.9%)が5割を超えて最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった」(25.7%)となっている。一方、「言葉も内容も知らなかった」(17.9%)は2割近くとなっている。



(7) 成年後見制度の利用意向

◇「利用してみたい」は4割近く

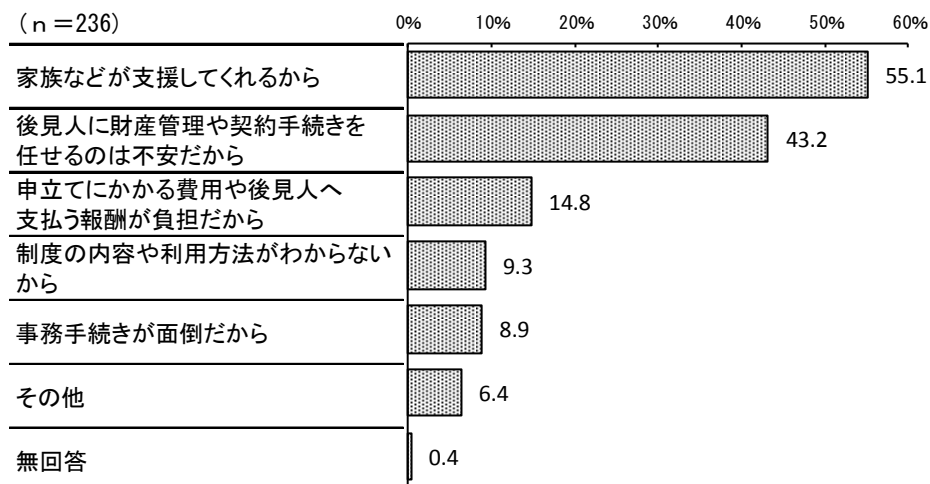
「利用してみたい」(38.8%)が4割近くで最も多く、次いで「わからない」(36.9%)となっている。一方、「利用したくない」(19.5%)は約2割となっている。



(7-1) 成年後見制度を利用したくない理由

◇「家族などが支援してくれるから」は5割台半ば

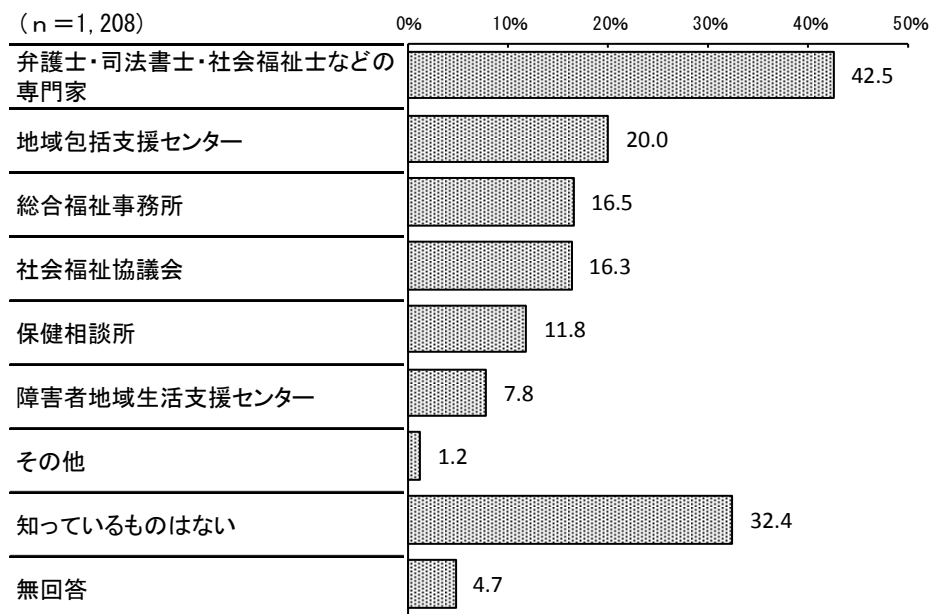
「家族などが支援してくれるから」(55.1%)が5割台半ばで最も多く、次いで「後見人に財産管理や契約手続きを任せるのは不安だから」(43.2%)、「申立てにかかる費用や後見人へ支払う報酬が負担だから」(14.8%)の順となっている。



(8) 成年後見制度が必要になったときに相談できる機関の認知度

◇「弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家」は4割を超える

「弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家」(42.5%)が4割を超えて最も多く、次いで「地域包括支援センター」(20.0%)となっている。一方、「知っているものはない」(32.4%)は3割を超えている。

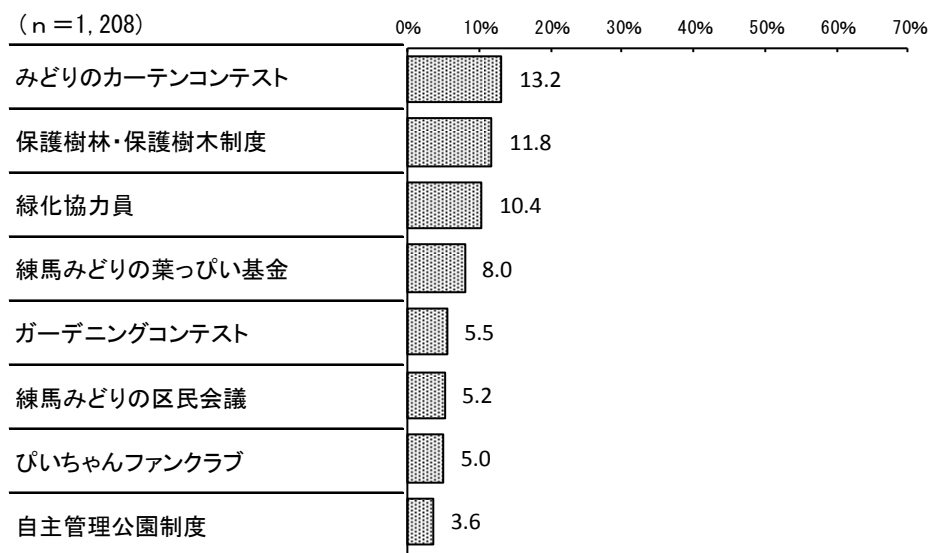


4 区民のみどりを守り育てる活動について

(1) みどりを守り育てる取組の認知度

◇「みどりのカーテンコンテスト」は1割を超える

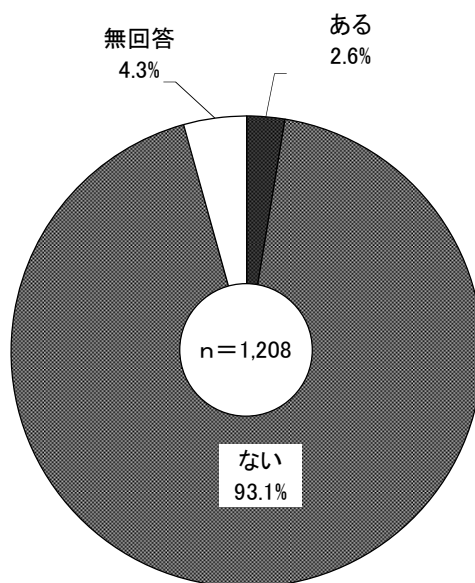
「みどりのカーテンコンテスト」(13.2%)が1割を超えて最も多く、次いで「保護樹林・保護樹木制度」(11.8%)、「緑化協力員」(10.4%)などの順となっている。



(2) 練馬みどりの葉っぱい基金への寄付の有無

◇「ない」が9割を超える

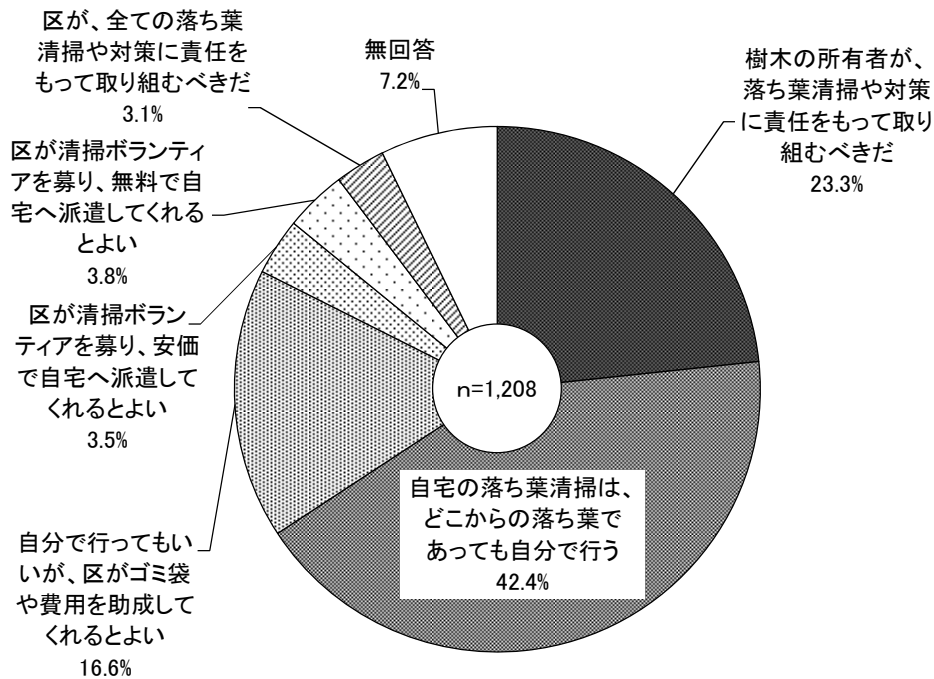
「ない」(93.1%)が9割を超える。



(3) 自宅へ入る落ち葉の清掃

◇「自宅の落ち葉清掃は、どこからの落ち葉であっても自分で行う」は4割を超える

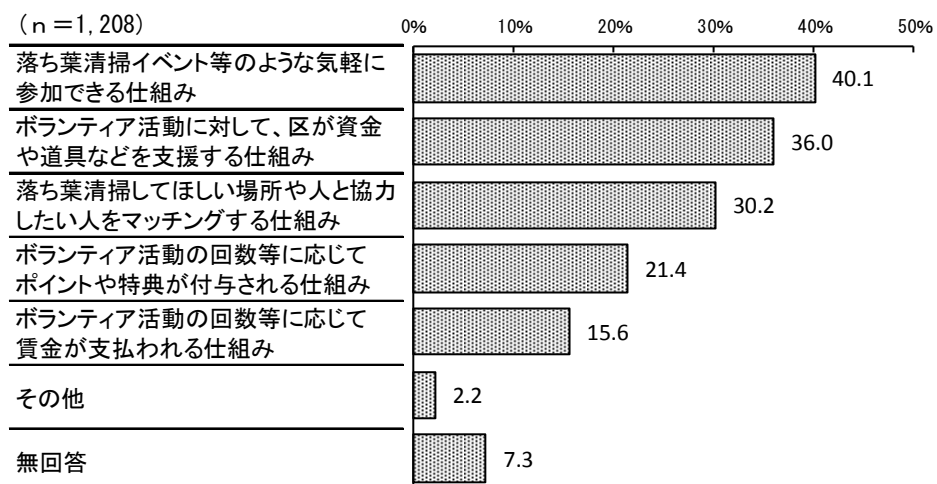
「自宅の落ち葉清掃は、どこからの落ち葉であっても自分で行う」(42.4%)が4割を超えて最も多く、次いで「樹木の所有者が、落ち葉清掃や対策に責任をもって取り組むべきだ」(23.3%)、「自分で行っていいが、区がゴミ袋や費用を助成してくれるとよい」(16.6%)などの順となっている。



(4) 落ち葉清掃のボランティアを行うために必要だと思う仕組み

◇「落ち葉清掃イベント等のような気軽に参加できる仕組み」は約4割

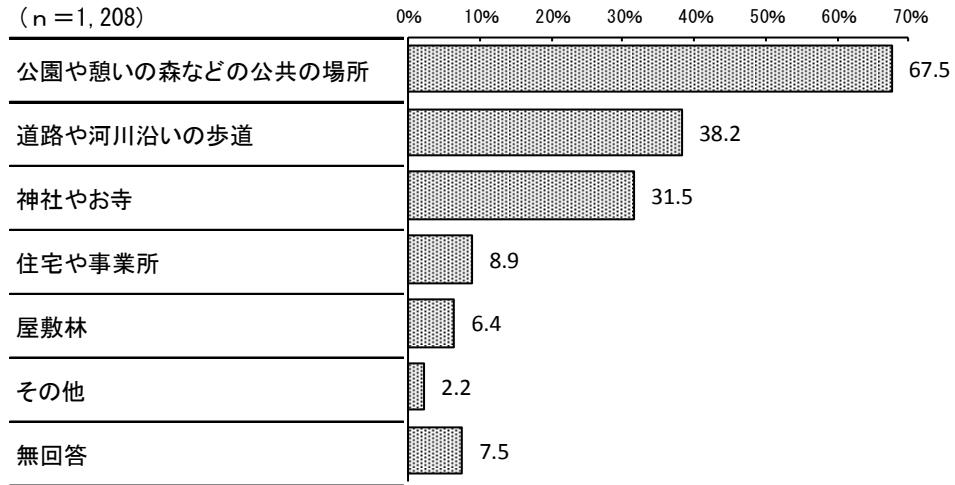
「落ち葉清掃イベント等のような気軽に参加できる仕組み」(40.1%)が約4割で最も多く、次いで「ボランティア活動に対して、区が資金や道具などを支援する仕組み」(36.0%)、「落ち葉清掃してほしい場所や人と協力したい人をマッチングする仕組み」(30.2%)などの順となっている。



(5) 落ち葉清掃のボランティアを行ってみたい場所

◇「公園や憩いの森などの公共の場所」は7割近く

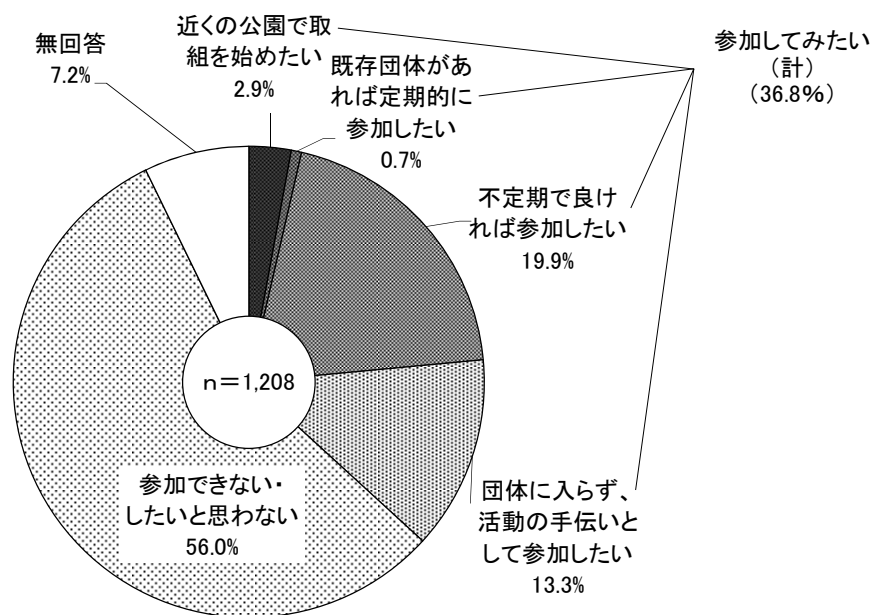
「公園や憩いの森などの公共の場所」(67.5%)が7割近くで最も多く、次いで「道路や河川沿いの歩道」(38.2%)、「神社やお寺」(31.5%)などの順となっている。



(6) 自主管理公園制度への参加意向

◇『参加してみたい』は3割台半ば

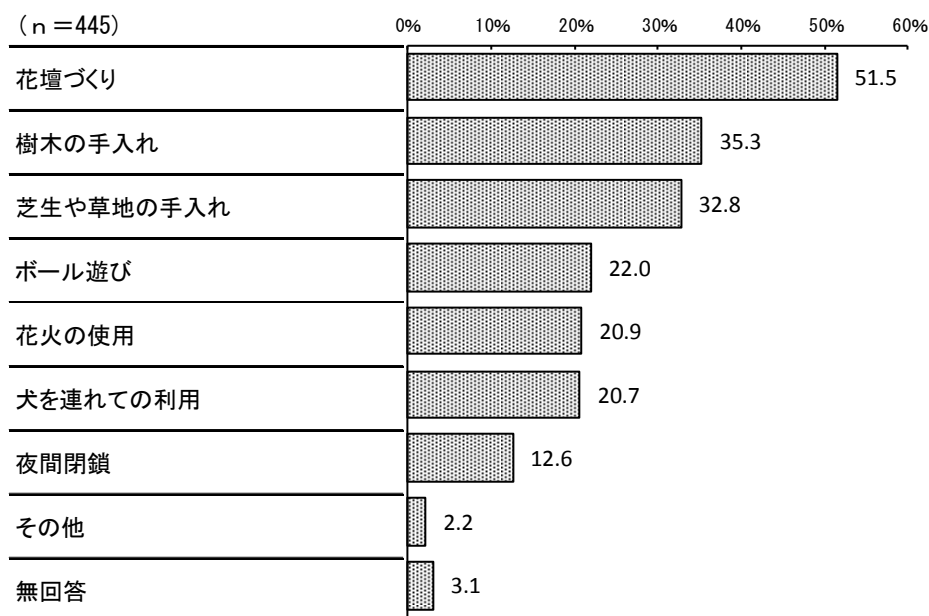
「不定期で良ければ参加したい」(19.9%)が約2割となっており、これに「団体に入らず、活動の手伝いとして参加したい」(13.3%)、「近くの公園で取組を始めたい」(2.9%)、「既存団体があれば定期的に参加したい」(0.7%)を合わせた『参加してみたい』(36.8%)は3割台半ばとなっている。一方、「参加できない・したいと思わない」(56.0%)は5割台半ばとなっている。



(6-1) 自主公園管理制度で行ってみたい取組

◇「花壇づくり」は5割を超える

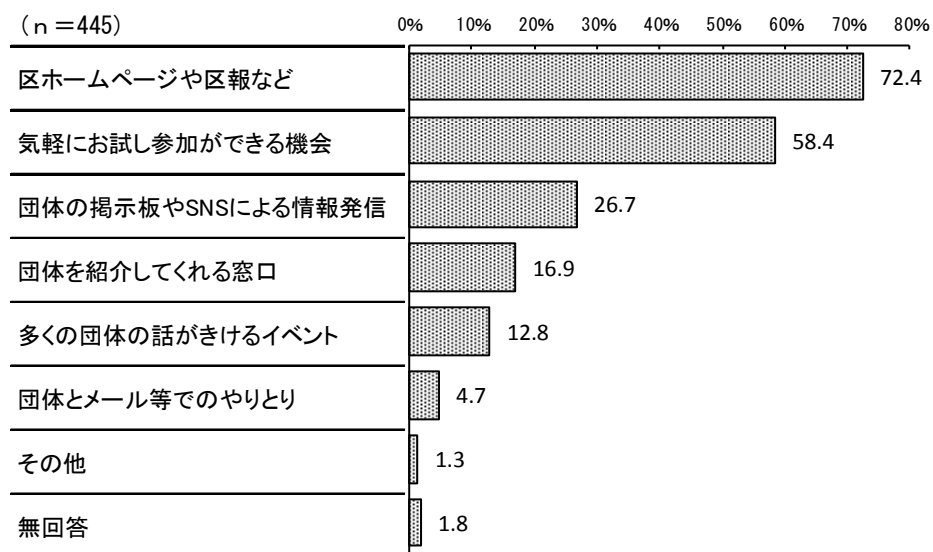
「花壇づくり」(51.5%)が5割を超えて最も多く、次いで「樹木の手入れ」(35.3%)、「芝生や草地の手入れ」(32.8%)などの順となっている。



(6-2) 自主管理公園などの活動に関する情報の希望する入手方法

◇「区ホームページや区報など」は7割を超える

「区ホームページや区報など」(72.4%)が7割を超えて最も多く、次いで「気軽にお試し参加ができる機会」(58.4%)、「団体の掲示板やSNSによる情報発信」(26.7%)などの順となっている。





古紙パルプ配合率80%再生紙を使用
本紙は、古紙パルプ配合率
80%の再生紙を使用してい
ます。このマークは、3R活
動推進フォーラムが定めた
表示方法に則って自主的に
表示しています。